

第2部 みんなの歌声 (戦後のあゆみ)

リンゴの唄 (1946)	女声3部	サトウハチロー：詞／万城目 正：曲／寺嶋 陸也：編
かへり船 (1946)	男声斉唱	清水みのる：詞／倉若 晴生：曲
東京ブギウギ (1948)	女声3部	鈴木 勝：詞／服部 良一：曲／寺嶋 陸也：編
あゝモンテンルパの夜は更けて (1952)	混声4部	代田銀太郎：詞／伊藤 正康：曲／寺嶋 陸也：編
花の街 (1947)	女声2部	江間 章子：詩／團 伊玖磨：曲
上を向いて歩こう (1961)	男声4部	永 六輔：詞／中村 八大：曲／寺嶋 陸也：編
死んだ男の残したものは (1965)	混声4部	谷川俊太郎：詞／武満 徹：曲
聞こえる (1991)	混声4部	岩間 芳樹：詩／新実 徳英：曲
一本の鉛筆 (1974)	混声4部	松山 善三：詞／佐藤 勝：曲／信長 貴富：編

ピアノ	第1部 河内 仁志	第2部 沢田真智子	第3部 多久江里子	金月 里紗
トランペット	土井 淳平			
鍵盤ハーモニカ	青木 耕平	野上 貴子		

春の定期演奏会に寄せて 藤井 宏樹

日本の西洋音楽史を振り返ると、その始まりは概ね明治維新後から。私達の生活に極めて自然に溶け込み、今や様々な形でそれらは発信されて、むしろ未来への音楽源流として日本も重要な位置を築いたのではないか。しかしこの様な豊かな音楽世界を展開するまでには、数え切れぬほどの多くの人がとが関わり、喜びと悲しみの両輪に乗って困難をも力として進んで来た歴史があった。そしてそれはそのまま、この私達の国、日本の歴史と深く関係し、その時々を映し出してきていた。これまで何気なく口ずさんできた歌。友と歌い合った懐かしい歌。人を支え、希望を与えてきた歌。そのどれもが自らに誕生の背景を持ち、またそれゆえに人から遠ざけられ、悲しい歴史を奉賀しなければならなかった事さえあったのだ。歌の花籠と名を付けたこのコンサートで出逢う歌の数々は、その響きの中に言葉では言い尽くせない、命の輝きを持って、今も息づき、私達を見つめている。

PROFILE



藤井 宏樹 指揮

山梨県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮法を黒岩英臣氏に師事。現在、全10団体(アカシアコーラス、樹の会ユースクワイア～奏～、女声合唱あやのね、合唱団ゆうか、クールオルタンシア、女声アンサンブルJuri、Nekko male choir、はるか、山梨大学合唱団、横浜市立大学混声合唱団)を有する(樹の会)・Ensemble PVDの音楽監督を務めるほか、合唱団「弥彦」の講師としても活躍している。国内外のコンクールにおいては1位、2位という高い評価を得て、海外に招聘される機会も多い。また、Tokyo cantat等多くのコンサートや講習会の企画・運営にも深く携わっているほか、現代作曲家への委嘱も多く行っている。オーケストラとの共演も多く、東京交響楽団、東京カンマーコレイゲンなどとともに数多くの演奏を指揮し、好評を博している。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」代表副幹事。東邦音楽大学特任准教授。JCDA日本合唱指揮者協会会員。

戸ノ下 達也 企画・構成



1963年東京都生まれ。立命館大学産業社会学部卒業。研究課題は近現代日本の社会と音楽文化の考察。著書に『「国民歌」を唱和した時代』(吉川弘文館、2010年)、『音楽を動員せよ』(青弓社、2008年)、編著書に『日本の吹奏楽史』(青弓社、2013年)、『日本の合唱史』(青弓社、2011年)、『総力戦と音楽文化』(青弓社、2008年)、『戦後の音楽文化』(青弓社、2016年)など。またトウキョウ・カンタート2009コンサート「競演合唱祭からみんなの合唱へ」など演奏会の監修にも注力している。洋楽文化史研究会代表幹事。

しままなぶ 台本・演出



俳優、劇作家・演出家。岩手県北上市生まれ。宇都宮大学混声合唱団出身。舞台作品を中心に、テレビ、映画等映像作品にも出演、同時に劇作家・舞台演出家として活動の場を広げている。劇団やプロデュース公演による芝居の他、合唱団による、シアターピース・合唱劇の演出、また各種コンサートや声楽家のリサイタル等、音楽分野の演出でも活躍している。作・演出した作品としては、「やっこらさのさ、トンカ・ジョン～北原白秋と三人の妻～」(はるか2013年9月初演)、「賢治さんに会いたい。～宮澤賢治の言葉と音楽」(TokyoCantat2014コンサート)、「かなしみはちからに、～宮澤賢治 未来への手紙～」(樹の会ユースクワイア～奏～ 2015年7月初演)等がある。



神戸市混声合唱団

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。2005年には、ウラディー・ミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

音楽監督 中田 幸子 副指揮者 青木 耕平・太田 務 マネージャー 皆本 美千代

Soprano ソプラノ	Alto アルト	Tenor テノール	Bass バス	Piano ピアノ
伊藤 碧	高原いつか	秋本 靖仁	池田 真己	大原亜樹子
●老田 裕子	友好 博子	井澤 章典	★石原 祐介	河内 仁志
金岡 伶奈	西本 鑑子	●西本 創	嶋本 晃	金月 里紗
周防 彩子	●野上 貴子	谷口 文敏	高橋 純	*沢田真智子
田中めぐみ	長谷川明莉	土井 淳平	高橋 純	多久江里子
津田 佳子	肥田真莉子	土井 淳平	武久 竜也	中村 圭介
内藤 里美	村井 優美	馬場 清孝	中野 嘉章	松永 玲子
端山 梨奈	八木 寿子	●真木 秀信	西尾 岳史	
丸山 晃子	山田 愛子	三木 欽也	●福嶋 勲	

★コンサートマスター ●パートリーダー *ピアノリーダー

春の定期演奏会

公益財団法人 神戸市演奏協会 第429回公演

「ニッポン・歌の花籠」

明治から昭和までの日本の歴史を歌で綴る。
時代の中で歌が合唱がどう生き抜いてきたのか。

Regular Concert in Spring

2016年3月6日(日) 14:00開演

神戸文化ホール 中ホール

